



1/1に地震震災 1/2にボランティアメンバーに支援を求め、1/3に水・簡易トイレ・食料・生活用品を富来地区避難所へ 1/4は水・食料・生活用品を能登島避難所へ



1/5 三道山子ども食堂 1/6 能登半島地震 義援金活動 1/7 二十歳のつどい 1/9 日本赤十字社災害対策本部 1/13 ひとり親パントリー



1/14 能登半島地震 義援金活動 1/16 珠州市避難所物資支援 1/18 珠州市避難所物資支援 1/19 三道山子ども食堂 1/23 富来地区物資支援



1/25 珠州市物資支援 1/30 三道山子ども食堂生活応援弁当 1/30 珠州市物資支援 2/2 あいおいニッセイ同和損保様から三道山子ども食堂にご寄付



2/2 三道山子ども食堂 2/8 珠州市避難所物資支援 2/9 健康福祉センター sante リニューアルオープン 2/12 珠州市避難所物資支援 & 炊出し



2/14 市内二次避難所「じんのびカフェ」 2/15 中小企業庁研修会 2/16 いしかわ伝統工芸フェア 2/16 三道山子ども食堂



2/19 珠州市避難所物資支援 2/21 市内二次避難所「じんのびカフェ」 2/24「じんのびカフェ」 2/25 春まち研修会



4p 2/26 珠州市避難所物資支援 2/28 珠州市避難所炊出し 3/1 寺井高校卒業式 3/1 三道山子ども食堂

思いが叶う能美市に！

令和6年 春 第48号

市内全戸配布版

～能美市政報告～

絆 きずな

能美市議会議員
たなか さくじろう
田中 策次郎



能美市委託事業

ボランティア活動
のみの子育てネットワーク・三道山子ども食堂
能美市国際交流協会・JA能美ボランティアグループ

じんのびカフェ

能美市に来てんし、九谷焼カップでお茶飲んで
じんのびしてぐこっちゃんねー

対象
令和6年能美市各地域の町で
市内に避難されている方、及び
そのご家族

- スーパードール石川能美上太町インター
毎週1曜日 10:00～11:30
- まつぎき館
毎週水曜日 15:00～16:30
- たがね館
毎週水曜日 15:00～16:30
- 居口福祉会館 204
毎週水曜日 10:00～11:30

【お問い合わせ】
能美市市民生活課 204
TEL 0761-58-6603

無料
です





3/2 春まちプロジェクト 防災ネットワークプログラム



3/5 珠洲市避難所炊き出し



3/7 珠洲市避難所物資支援



3/8「じんのびカフェ」



3/9 寺井中学校卒業式



3/9 コミュニティナース研修会



3/13「じんのびカフェ」



3/15 三道山子ども食堂



3/17 珠洲市避難所物資支援



3/20 珠洲市避難所炊き出し



3/24 輪島市 出張子ども食堂



3/26 珠洲市避難所炊き出し



3/26 珠洲市避難所物資支援

**多くの皆様からの温かい気持ちを
能登の被災者にお届けさせて頂きました**

能登のために

●小中学校給食費の完全無償化について

令和5年度から開始した小中学校の給食費無償化を来年度も継続する予算として、小中学校給食賄材料費2億3,835万4千円、学校給食費負担軽減事業6,832万6千円の合わせて3億668万円の予算が計上されている。学校給食費の完全無償化に踏み切った「目指す目的と期待される効果」への市長の思いと「学校施設の老朽化対策や教職員の増員」への今後の対応は

答 井出 敏朗 市長

- 市が目指す目的と期待される効果としては、**家計負担を減らすことで子ども達の学校生活や学習意欲に経済的困難が影響を与えないようにする**。給食費の負担を、子どもの新たな学びの機会や成長に必要な費用に当てることが可能となる。経済的軽減で家族での外食や旅行等の機会が増え家族の絆が深まり、もう一人産み育てたくなるような効果も期待する。
- 学校施設の老朽化対策では市学校施設長寿化計画に基づき**老朽化が著しい学校施設から順次対応**。
- 教職員の増員として、特別支援学級在籍の人数が増えていることから新たに2名増員し、教員免許を有する職員を**新たに学校指導員として各校に1名配置し校内ふれあい教室を新設**する。今後も不登校生徒が安心して学べる環境を整えていく。



●新給食センターの食材発注について

これまで各学校ごとに受注していた市内の商店が不安に感じている。新給食センター食材発注における、業者や各取扱い量を維持継続すべきと考えるが発注業務計画の概要を問う。

答 森 直樹 教育委員会管理局长

- 市としては、**これまで各学校に納入されてきた地元業者を引き続き活用する方針**で、発注方法は透明性や公平性、競争性を総合的に勘案し検討を急いでいる。市内納入業者との調整を図り、納入業者の受注機会の確保に十分に配慮した上で、持続可能な仕組みづくりを構築していく。



●スケートボード競技者への支援について

スケートボードパークは若い世代の集いの場となり、子育て世代の定住の促進や交流人口の拡大にも繋がると考える。
民間と連携したスケートボード競技者への支援を問う。

答 森 直樹 教育委員会管理局长

- 市内の施設では、年間平均で5,000人～6,000人が利用しており、市民の利用者は約150人と把握している。根上中学校の生徒が昨年10月に新潟県村上市で開催されました全日本アマチュアスケートボード選手権大会に北陸地区代表で出場している。**市内に施設のある民間事業者と協議し、課題を共有した上で具体的な支援策の内容を調査研究していく。**

●市内観光施設の支援について

北陸応援割が利用可能な市内観光施設の情報発信と、地震によって大きな被害を受けた九谷焼業界や、市内のお土産・菓子製造会社も県内観光の冷え込みで影響を受けている。能美市にお客様を誘導し、市内事業者が潤うような、**市内宿泊者への施策宿泊補助やお土産の購入補助など市単独補助ができないか。**

答 谷田 直樹 産業交流部長

- 市ホームページや公式LINE、フェイスブックに掲載しており、**町会町内会長会等でも市内施設への宿泊利用により、能美市の観光を盛り上げていくよう呼びかけていく**。市独自の追加補助については、今後の国、県及び他市町の動向と北陸応援割による観光客の回復状況を注視していく。



●避難所運営学習と公共施設での避難訓練を

実際に避難所となる体育館や公共施設で体験訓練を行い、寒い冬・暑い夏や体育館など硬い床での過ごし方、災害時のトイレの使い方、給水や食事のとり方、衛生環境の守り方などを、避難体験で学ぶ訓練が必要と考える。**避難所運営のリーダー学習と、公共施設での避難訓練を実施できないか。**

答 橋場 和彦 総務部長

- 避難環境の向上に貢献できる国の人材育成制度を活用し地域の防災リーダーのステップアップを図る。避難生活の各場面を想定して追体験をすることにより、適切な対処方法を学ぶことができ、多くの気づきと防災意識の向上に効果がある。**能登半島地震で多くの方々の避難生活の状況を見るにつけ、地震対策における訓練は必要**。何ができるかということと相談し対処していく。



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



議会 YouTube 配信
意見交換会や
本会議の中継を
発信しています

